

第5巻 第10号(第1刷)
2014年12月16日発行

古賀市議 ぬま健司のニュースレター

HP numakenji.jimdo.com /
facebookも活用しています！

最新の情報やデータを発信して
います。ぜひご覧ください！



古賀市議会 議長
奴間 健司

ぬま健司後援会事務所
古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103
電話/FAX: 092(944)2639

12月定例議会を延期

来年1月13日開会 新市長が所信表明

▼9月10日、私は議長として初めて一般質問を行いました。副議長が議長席に座りました。私は竹下市長に健康寿命延伸の取り組みや人口目標見直しなどを提言しました。(写真右)



12月9日に予定していた定例議会は2015年1月13日に延期されました。市長選挙で現職市長が落選し、招集日の延期が議会側に申し入れられたためです。変更後の会期日程案は、来年1月13日から1月28日までの16日間です。1月8日の議会運営委員会にて正式に申し合わせします。

1月の議会では、中村隆象次期市長が市政運営に関する所信表明を行います。これを受けて一般質問が行われます。どの議員がどのような質問するかは、通告締切日の1月16日にはわかります。議会傍聴やインターネット議会中継・録画をご活用ください。

次回定例議会の主な日程案

- 次期市長の所信表明 2015年1月13日(火)の本会議 午前9時30分に開会
- 一般質問 1月22日、23日、26日の午前9時30分 (通告締め切りは1月16日の正午)

古賀市長選 最多候補・最低投票率 広範な民意の把握が不可欠

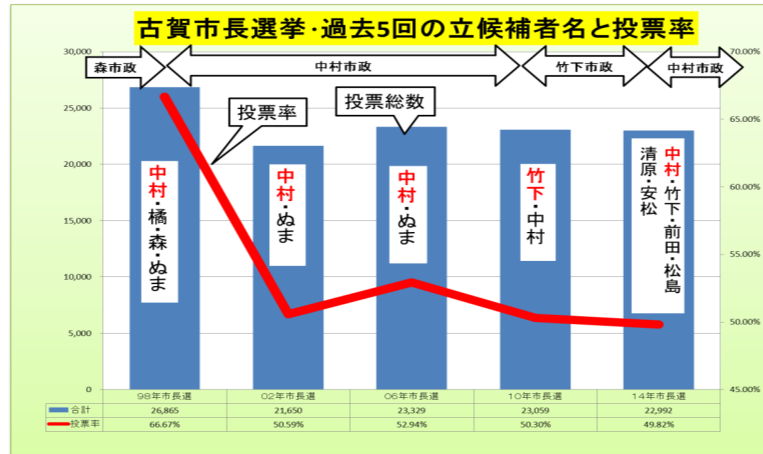
11月30日の古賀市長選挙の結果、現職の竹下司津男市長が落選し、前市長の中村隆象氏が当選しました。今回の選挙は候補者が6人と過去最多人数でしたが、投票率は49.8%で過去最低でした。4人が立候補し、中村市政が誕生した1998年の市長選では投票率は66.7%。投票者数は今回に比べて4千人近く多かったです。

しかしこの結果は、関心がなかったのではなく、多くの市民が迷いに迷った結果と言えます。従って、今後の市政ならびに議会運営にとって

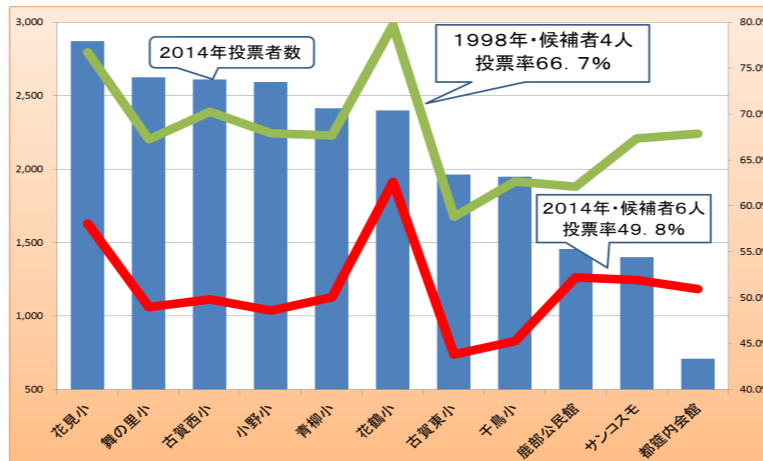
大切なことは、現職市長をはじめ他の候補者に期待した民意や、投票に行けなかった声をも幅広く把握することではないでしょうか。

一方、市長選の本来の争点であった、超高齢・少子化、人口減少時代への備えは極めて重要です。健康寿命延伸や、気軽に外出できる交通手段確保、子育て支援と学校教育の充実は全力で取り組むべき課題です。

私は市政運営のかじ取りが、安定し建設的なものになるよう「チーム議会」として頑張ります。それが議長を貫くことにした私の責務です。

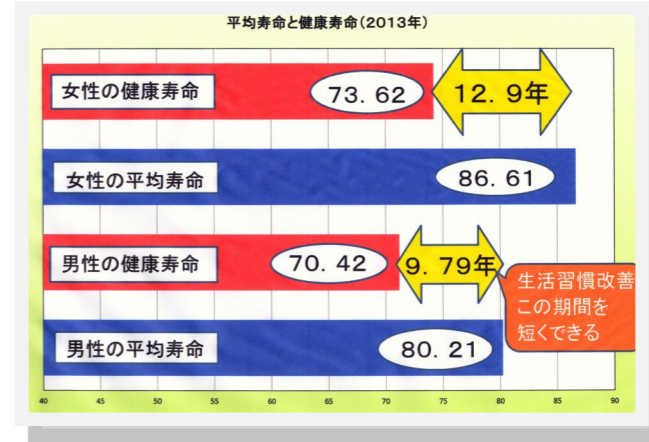


▲グラフは過去5回の市長選の立候補者と投票率です。1998年は4人立候補し66.7%、今回は6人で49.8%でした。



▲グラフは1998年と今回の投票所別の投票率の比較。全て低下しましたが、花鶴小がトップで同じ山型という特徴です。

めざそう！健康寿命延伸 市民の健康でまちの元気を



▼介護や医療のお世話にならず、制限のない生活を送れる期間が健康寿命。健康寿命を伸ばすことで本人や家族が幸せで、ひいては医療・介護にかかる経費を節約することになります。

今回の市長選挙では大半の候補者が「健康づくりの促進」、「健康寿命延伸」を掲げました。画期的なことです。竹下市長は健康寿命延伸の先進地である長野県松本市の菅谷市長と交流の窓口を作りました。

骨密度測定器を活用した健康づくりは、私が中村市長時代に一般質問で提言し予算化。竹下市長時代になって具体的に展開され、今では年間4千人以上の市民が測定しています。少しずつ増員された保健師や健康づくり推進委員の皆さんが大変頑張っています。



古賀市の一般会計、特別会計合わせて約300億円のうち、約100億円が高齢化や健康状態に左右される金額です。

①市内46行政区の公民館を拠点とした健康づくり②保健師を核とする地域担当職員制度の確立③全行政区による健康づくり推進委員選出などはとても大事な目標と言えます。

私は、健康づくりや地域医療体制の確立をライフワークとして、生涯かけて取り組むつもりです。私の名前は、「健康を司る」を意味する「健司」です。

ぬま健司のプロフィール

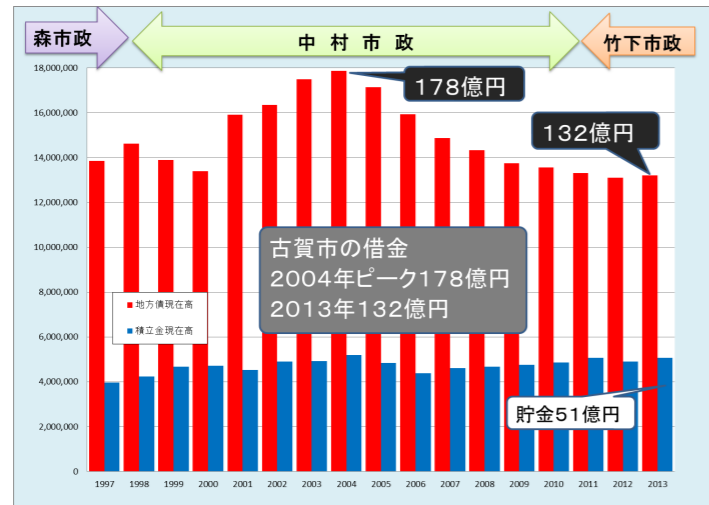
- 1952年4月17日生まれ
- 千葉大医学部中退。
- 1995年町議に初当選 現在5期目
- 2011年5月から古賀市議会 議長、古賀高校組合粕屋北部消防組合、玄界環境組合、北筑昇華苑組合の各議会議長を兼任。
- 「地域医療と市民を結ぶ会」(大岩俊夫代表)の事務局長
- 「福岡東医療センター・在り方検討委員会」委員長
- 「市民じち学校」(仮称)を提唱
- 妻、息子、娘の4人家族



福岡女学院看護大学の大学祭でも骨密度や体組成、血管年齢などを測定してもらいました。

少子高齢化に備えた財政運営をさぐる

▼議会の指摘もあり財政状況は決して悪い方ではありません。しかし、少子高齢化、医療・福祉の増大で樂觀は禁物。●健康づくり、清掃工場見直し等で健全財政をめざします。



グリーンパークの縮小と行革で借金は減少

市民要望に応え念願の道路照明灯

▼県道・筑紫野古賀線は夜は真っ暗でした。地元区長や県議と協力して県に要望し、ついに実現しました。●市民の安全・安心を守る切実な要望に今後も全力で応えていきます。



道路照明灯 LED

千鳥、花見地区に合計11基の道路照明灯

「脱焼却・バイオマス」で資源循環

▼清掃工場に関する古賀市の負担金額は、過去10年間で約8.3億4千万円。市財政を圧迫してきました。●この反省に立ち、生ごみ資源化、広域処理、脱焼却で経費削減をめざします。



2016年度までに将来計画を決める清掃工場

市民参画による公園づくり

▼花見小学校横の6300㎡の用地に公園整備。小学生や市民の声を反映させ、今年度中に実施設計、2016年3月完成見込み。●市民参画のまちづくりを促進させます。



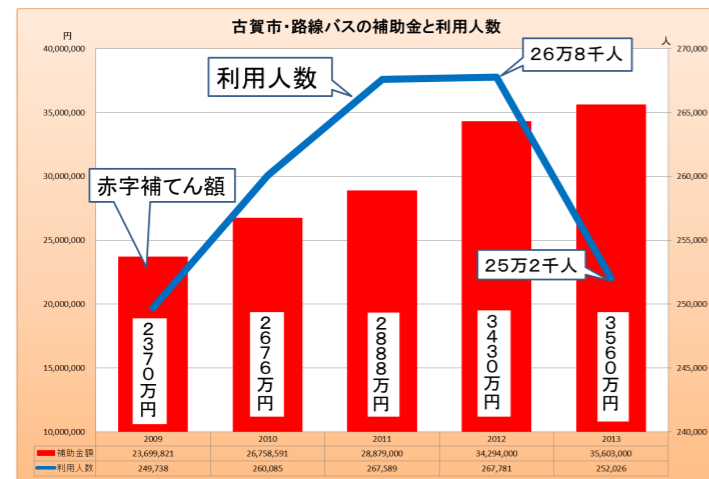
花見小

花見東公園用地

ワークショップを踏まえ2016年3月完成予定

健康、地域活性化に効果ある公共交通

▼市民の要望は強いが改善はまだ。●公共交通重視の法施行を活用し、気軽に外出でき、健康維持や地域活性化にもつながるコミュニティバスを提言します。



解決迫られる赤字補てん増額と利用者の減少

千鳥駅周辺の整備 良好な生活環境へ

▼千鳥駅前広場は2017年度の完成目指して取り組み中。駅の東西の狭い道路の拡幅も進行中です。●安全な生活環境、定住化促進につながる工事を促進します。



千鳥駅

駅前広場

道路拡幅

計画では駅前広場完成まであと3年~4年

議長就任3年半・チーム議会の成果

インターネット中継、議会基本条例、議会報告会、押しボタン採決を実現
日経新聞社の議会改革度で県内1位



←古賀市のホームページから議会中継や録画を見ることができるようになりました。2015年3月から予算特別委員会も中継・録画配信します。開かれた、政策提言力のある議会を目標に今後も引き続き頑張ります。



←私は議長として500回近い挨拶をしました。フリップを使って古賀市の課題をわかりやすく説明する工夫もしました。情報やデータは、まちづくりの前提です。今後も情報発信に努めます。

九州・沖縄 市議会改革度 佐賀・嬉野市が首位

全国813市区議会を対象に情報公開や住民参加などの進み具合を聞いた日本経済新聞社の議会改革度調査で、佐賀県嬉野市が九州・沖縄の11市の中で1位になった。九州・沖縄の市議会では全国ベスト50位までに6市が入った。嬉野市の首位は2012年の前回調査から2年連続。全国では9位だった。他市に先駆けて運営規範を定める議会基本条例を制定。住民に向けた議会報告会を開いたり、インターネットで議案の内容や本会議の様子を公開したりした点が評価された。1より開かれた議案を1つ上げ、9月定例会を1つ上げた。

九州・沖縄の市議会改革度の上位10位

1 (9)	嬉野市(佐賀県)
2 (30)	佐伯市(大分県)
3 (36)	大分市
4 (46)	小郡市(福岡県)
4 (46)	古賀市(福岡県)
6 (49)	鹿島市(佐賀県)
7 (52)	霧島市(鹿児島県)
8 (66)	佐賀市
9 (68)	北九州市
10 (74)	豊前市(福岡県)

(注)カッコ内は全国順位



↑議員全員で議会としての初の報告会を3会場で開催。(7月)今後も継続して取り組みます。

古賀市議会の改革度は、九州・沖縄で第4位、福岡県内で第1位の評価を頂きました。(6月17日の日経新聞)